



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

第 11 期生の選考を終えて

2018 年 4 月 1 日に奨学生の面接を行いました。本奨学金事業は今回で 11 回目の面接となります。面接は、H、T、N の 3 名で行いました。

本年は、奨学金応募者が少なく、定員と同数の 3 名でした。応募者の国籍（ルーツ）はベトナム 1 名、アルゼンチン 1 名、フィリピン 1 名でした。そのため書類選考を行わず面接のみで採用を判断しました。

例年、奨学生の選考基準は、将来および高校での目標の明確さ、ボランティア活動への参加意欲、中学での学習状況、家族の困窮度などを総合して判断することになっています。幸い 3 名とも、まじめな中学校時代の生活態度や積極的な将来希望を明確に述べ、十分選考基準の合格水準に達していると思われ、全員を採用としました。面接後の意見交換でも、応募者は少なかったが将来期待できる人材ばかりが採用されたと面接委員 3 名が同様の感想を持ちました。

面接時に応募者の家庭事情を聞いてみると、低所得、母子家庭、多人数家族など外国にルーツを持つ生徒たちが抱える共通の問題を抱えた生徒たちばかりでした。奨学金事業の必要性と今後の持続の重要性を改めて認識する機会となりました。

はじめにも触れたように、今年で奨学生は 11 期目を迎えました。奨学生たちの国籍（ルーツ）は、多い順にベトナム 9 名、中国 8 名、ペルー 5 名、フィリピン 5 名、韓国 2 名、メキシコ、コロンビア、ブラジル、アルゼンチン各 1 名と多様です。この事業がはじまったころ奨学生に採用された生徒たちも今では社会人として活躍していると思います。

11 年を振り返って見ると、近年の奨学生の顕著な傾向として、大学進学希望者が増えていることがあげられます。彼らが後輩たちのロールモデルとなって、今後も大学進学にチャレンジする生徒たちが増えてくることを期待します。

今年の奨学生面接を終えて、今後の奨学金事業の課題を考えると、やはり応募者の増加確保が課題と思います。今までのこの事業についての情報発信の仕方を再検討する必要がありますでしょう。また、保護者や生徒たちの目に届きやすいメディアとして SNS やインターネットを使った多言語による情報発信も考えて良いかもしれません。

今後ともこの奨学金事業にご理解とご協力をよろしくお願いたします。

(副実行委員長 N.T)

奨学生からのメッセージ

A さん (11 期生)

1. 自己紹介

フィリピンから来ました。日本に来たのは当時私が 6 歳の時でした。私は 5 人家族で兄と弟がいます。

中学校では友達と楽しく中学生生活を送っていました。私は海外に興味があるのでいつかいろんな所に行つて文化などについてもっと知りたいです。

2. 高校に進学してどのようなことがしたいと考えていますか。

私は中学校の時の後悔をバネにして高校では勉強熱心になろうと思います。また、ボランティア活動してみたいと思います。中学校の時の友人関係は広く浅くだったので高校では深く関わろうと思います。

3. 将来の夢

私は将来、キャビンアテンダントになりたいので高校では特に英語に力を入れマナーを身につけたいです。世界に行つてたくさんの人とお話をして文化の違いを知りたいです。

U さん (11 期生)

1. 自己紹介

私は 4 歳の時に日本へ来ました。なので日本育ちで日本語もしっかり話せます。中学校や小学校では、友達をたくさん作り毎日楽しい日々をおくっていました。高校入学してからも、友達はすぐにでき、授業でもあまり進んでいないなか、先生方が分かりやすく教えてくださってるせいかスムーズに覚えることができます。

興味関心では、私は保育士になりたいと思っているのでピアノや子どもとふれ合う行事について興味を持っています。学校では、プリスクールコースという、小学校の先生や保育士の先生になるための授業があります。そこで私は勉強を少しでも夢に近づけるためにがんばっていきたくと思っています。

2. 高校に進学してどのようなことがしたいと考えていますか。

高校に進学し、私は部活動に入りたいと思っています。体を動かすことが好きなので、3 年間続けられるような部活に所属し、楽しみたいと思っています。ボランティア活動の方は、私は「こうべ子どもにこにこ会」に参加していたので、イベントには積極的に参加しようと思っています。

さらに奨学生になったからには、他のイベントもチャレンジしていきたくと思っています。

3. 将来の夢

将来は保育士になろうと思います。今かよっている高校が保育士を目指すコースがあり、そのコースを選びました。そのコースを選んだからにはしっかりと勉強し、同じ目標をもつ子と一緒にがんばっていきたくしています。

T さん (11 期生)**1. 自己紹介**

- ・ルーツのある国・・・ベトナム
- ・日本生まれ
- ・母子家庭
- ・中学校では学校代表として弁論大会に出た。日本語・多言語スピーチコンテストで最優秀賞を取った。人前に出ることが苦手だったので自分から積極的に人前に出て話した。
- ・興味関心・・・看護師になりたい。

2. 高校に進学してどのようなことがしたいと考えていますか。

- ・勉強・・・トップをねらう。
- ・部活動・・・入る予定はないです。
- ・友人関係・・・何事も全力で取り組むことができる友人をつくり、学校生活を共に楽しむことができるようにたくさんつくる！
- ・ボランティア活動・・・予定が合う日は積極的に参加したい。
- ・看護師になるためにも勉強は手を抜かずに取り組みたいです。

3. 将来の夢

- ・将来就きたい職業・・・看護師
- ・達成したい目標・・・勉強の面で学年トップをとること。
- ・将来について考えていること・・・大学に進学し、看護師に一步でも近づけること。

N さん (10 期生)**「人工知能 (AI) と人間」**

僕が今回選んだ作文のテーマは、「人工知能 (AI) と人間」です。このテーマにした理由は、テレビやインターネット、学校の授業など、その発達には人間に大きな影響を与えるとよく取り上げられていて興味がわいたからです。

自分が特に興味を持った話題は、「AI が人間に代わり、様々な仕事をこなすようになるのではないか」というものです。自分はまだ十六年しか生きていませんが、人間の技術の発達はとても速いと思います。この速度のまま発達し続ければ本当にそんな風になってしまう世の中になると思います。今現在も小さなところでは AI がとても活躍しており、将棋界で活躍されている藤井聡太六段も AI の使われた将棋を使って練習されているそうです。

AI で人間の仕事がなくなるということについてですが、なくなる仕事はかなり多いようで、コンビニなどのレジや会計などの身近なものから、自動車の運転や、銀行の融資担当者のような複雑で難しいものまで、様々なものが予想されています。以前、休日に友人と話しているときに、ふとこの話題になり話しあったことがあるのですが、友人は、自分は工業系の仕事に就職しようかな、と言いました。その理由は、そういった AI のメンテナンスや技術のさらなる進歩に関わる職に就けば、少なくとも失業することにはならないと思うからと言っていました。また、別の友人はお笑い芸人になろうかと言っていました。理由は AI にエンターテインメントの仕事をとって代えることはできないと思うからでした。確かにエンターテインメントやコミュニケーションを取り扱う仕事は残ると考えられ

ているようですが、前者の方は AI でも代わることができると考えられているようです。調べていても驚きました。もし本当に AI だけでの技術発達が行われるようになってしまったら、それこそ、人類は大きく衰退してしまうのではないかと思います。

しかし、僕は少なくともそんな段階にまで物事は進まないと思います。世の中からたばこや兵器の生産がなくならないのは失業者が出てしまうからだと聞きました。それと同じように、想像もできないほどの大量の失業者で溢れかえってしまうのであれば、さすがに現状維持を選ぶと思います。しかし、僕と同じような意見を持つ人が多数いる中、AI の発達は進んでいます。これからどうなるのでしょうか、僕は楽しみより不安のほうが多くなりそうです。

V さん (10 期生)

「フィリピンのストリートチルドレンについて」

私は最近、学校の授業で課題研究という形でフィリピンの子どもたちについて調べてみました。すると、フィリピンは、ストリートチルドレンの数が世界一多いようで驚きました。最近高層ビルが立ち並んで、近代的な様子がイメージとして浮かんでくるというフィリピンの裏側には貧しい子ども達が存在しています。その理由は 70 年代後半から 80 年代半ばにかけて起こった経済危機にあるようです。そのため当時、より良い生活ができると思って農村部から都市部に移住した人々が多かったようです。しかし、仕事不足となり、さらに経済的格差は大きくなりました。その結果、良質な生活ができないことで大人のストレスは拡大し、それが次第に暴力、虐待、育児放棄へとつながっています。その悪循環がストリートチルドレンという深刻な問題を生み出しています。ストリートチルドレンは生きていくためにあまり良くない環境で働いたり、犯罪に手を染めたり、ダウタウンエリアで売春婦になったりすることが多いようです。そして、自分だけではなく、自分の家族をも支えていかないといけないような状況です。

私はこのことを知って、次の二つの疑問を持ちました。一つ目は「ストリートチルドレンの数を減らすにはどうすれば良いか」ということと、二つ目は「ストリートチルドレンの生活を良くするためにはどうすれば良いか」です。一つ目について、最近、こう思いました。「親は子どもを育てないと分かっているのになぜ子どもをたくさん産むのでしょうか。それだったら、一人だけ産んで、そしてその子をちゃんと育てたら良いのに。しかし多くの人はそういうふうに思わず、働かせるために子どもを産むらしいです。聞いた時に、私はとてもショックを受け、酷すぎないかとすごく思いました。しかし、人の想いを变えるのは難しいし、やっぱり生活にはお金が必要なのでストリートチルドレンを減らすのは少し無理があると分かってきました。だったら、ストリートチルドレンの生活を良くすることが重要だと思います。実はフィリピンの政府と NPO と NGO などの団体がこの子ども達に対して様々なサポートプログラムを行っているようです。例えば、教育について、奨学金や無料で学校に行けるなどです。しかしそれにも関わらず、子どもたちは学校に行かず、働く道を選ぶのです。それはやはりお金がほしいということだと思います。それならばあの子達が仕事でお金を稼げるように私たちは何かできるのではないかと考えています。例えば、卒業式に胸に着ける花を仕事として作ってもらうことや、服など普段の生活で使えるものを有名人にデザインしてもらい、それを子どもたちに作ってもらうことです。

あなただったらこの子どもたちのために、何をしますか、ぜひ一回悩んでみて下さい。

K さん (10 期生)

「高校生で良かったこと」

最近、家に帰る途中よく中学校の後輩を見かけます。例え夜 10 時頃でも重いカバンを背負って家に向かって歩いています。塾から帰ってきたのかなと思います。なぜそう思うかという、後輩の顔が異常に疲れていたからです。昨年、自分もそんな顔で歩いていたのでしょうか。受験から一年が過ぎた自分はもうすぐ高校二年生に上がります。やっぱり時間の流れは速いものだなと思いました。

高校に上がった後、すぐ高校生活には慣れませんでした。多い課題、複雑な人間関係、その上、進学校だから成績も大切です。夏休みに入るまでにやっと高校生としての生活を実感しました。一年の一学期は文化祭などで楽しかったけど、やっぱり高校生で良かったことは、友達との関係がさらに深くなったことです。悩みごと全部話せ、一緒にごはんを食べ、移動教室の時も何人か一緒に移動します。高校生としてもう一つ良かったことは自分で授業を選べることです。単位制の学校みたいに自由にはなっていないけど、自分の興味がある授業が中学校より増えます。それとセンター試験の受験科目も自分で決めて勉強していきます。一人一人のテスト範囲が異なります。中学校と大きく違います。その上に学校の先生も十分生徒を信頼しています。文化祭、生徒会なども自分達で作りに上げて、自分の想像力と実行力が上がることが高校生としてよかったことだと思います。部活は兼部ができることによって自分のやりたいことが実現できます。その代わりに、もし部活で上手くできなかったとしても自分の意志で部活をやめられます。以上例として挙げたことは自由な高校生活の中のほんの少しの一部で、それ以外にもいろいろなことがあります。

最近ずっと思っているのは、三年間は長いように思うけど、時間の流れが速くて、もし適当な態度で過したら、卒業後未来はどうなるでしょう。多分最後は夢を実現できずに適当に生きていくでしょう。だから、今は早く自分の目標を見つけ、それに向かって頑張らなければならない。

二年後、もし他人に「高校生としてよかったことは何ですか」と聞かれたら、ちゃんと答えをその場で言えるようになりたいです。

K さん (9 期生)

「平昌オリンピックについて」

つい先日まで、韓国の平昌で行われていたオリンピック冬季競技大会で日本は 3 個の金メダル、5 個の銀メダル、3 個の銅メダルの合計 11 個のメダルを手に入れました。これは、とてもすごいことだと思います。自分が暮らしている国でこんなに大量のメダルを手に入れたとなれば、色々な国の人達に自慢したくなります。中でも特にすごいなと思った人は、フィギュアスケート男子シングルで金メダルをとった羽生結弦選手と銀メダルをとった宇野昌磨選手です。男子シングルで日本人が金・銀メダルをとったので国中が熱狂したと思います。この平昌オリンピックで金メダルをとるということは相当な努力と経験がないとできません。ここで少し羽生選手について少し調べてみました。

羽生選手は 2 歳の頃から喘息の持病があり、スケートを始めた当初の目的のひとつは喘息を克服することだったそうです。そして、15 歳の時に喘息の持病がありながら五輪金メダリストになった清水宏保さんに会う機会があり、スケートを続けていくためのアドバイスをもらっていました。このことについて私は、喘息を克服するために始めたのにオリンピックで金メダルをとったり、世界ランク 1 位になったりするのには並大抵の努力では出来ないことだと思うので、羽生選手はそれだけフィギュアスケートに対する熱い気持ちと自分に負けたくないという気持ちを持っていて、そういった気持ちが羽生選手を強くしているのだと思いました。

以上のことから私は、何かを続ける大切さを改めて知り、これからは弱い自分に負けないようにしていきたいと思いました。それと、今回のオリンピックはテレビやニュースでしか見ていなかったのが 2020 年の東京オリンピックは、実際に会場まで足を運び生で色々な競技の様子を目にしておきた

いなと思いました。

G さん (9 期生)

「3 年生になってがんばりたいこと」

いよいよ最終学年になります。高校に入学してもう 2 年たったとは思えません。私は、この 2 年間自分の夢を実現させるためにがんばってきたつもりですが、現実はまだまだ厳しいものがあります。3 学期の成績は思い通りにはいきませんでした。中でも、国語力を上げるのは大変でした。文章を読んで深く考え理解することは、日本語が苦手な私にとっては難しかったです。それだけでなく、古典の漢文を解説するのは、本当に大変でした。非漢字圏から来た私にとっては、漢字を書くだけでも大変です。古典は、正直言っている意味が分かりません。3 学期末のテストでは大変苦労しました。このままではいけないと思っているので、今後改善していきたいです。

私は、高校 3 年の秋に学校推薦で家から通える看護専門学校に進学したいとずっと思っていました。しかし、そう簡単にいきそうにはありません。

自分の中で今までの勉強をふり返って何がいけなかったのか考えてみました。すると、いけない所だけでした。まず、2 週間前にテストに取り組もうとしてもなかなかはかどりませんでした。結局、気づいたら前日になってしまいました。それからあわてて詰め込もうとしても無理でした。いつもこのパターンのループで後悔しています。このままでは、看護師になるという夢を実現することは難しいと思います。

夢を実現するためには、自分が何をしないといけないのかを自問自答しました。その結果この春から塾に通って集中して勉強することに決めました。我が家の経済状況では苦しいですが、自分の夢を叶えるためには出来ることは何でもやってみようと思っています。家族も私を応援してくれています。その期待に応えるためにもがんばろうと思います。

3 年生になって頑張りたいことは、自分に厳しく、苦手な科目を克服し自分の夢を叶えることです。

K さん (8 期生)

1 高校を卒業して

高校入学から卒業までの 3 年間本当に濃い時間でした。特に印象に残っているのは、高校 2 年生のときに初めて海外に行ったことです。語学研修でマレーシアとオーストラリアに行き、そこで沢山の人と関わることができました。言語がダメでも絵やジェスチャーを使い、コミュニケーションを取ることを学びました。さらに高校 2 年生では修学旅行もありました。僕の学校では修学旅行は台湾に行くことが決まっており、2 年生のうち 3 カ国も海外に行ったことが印象的です。

またここで素敵な友達が出き、行事ごとに参加して色々な方と出会えて、本当に楽しい 3 年間でした。ありがとうございました。

2 今後の進路について

国公立大学に行けなかったのが、私立大学に行くことになりました。でも自分が進みたいと思う教育の道には行くことができたので良かったです。大学の 4 年間で、教育についての勉強や子どもたちとのふれあいを大切にしていきたいです。また心理の勉強もすることができるので、より自分の知識を深めていきたいです。学業とバイトの両立をしっかりと、充実した大学生活にしたいです。

3 後輩へのメッセージ

- ・悔いのないような高校生活を送って下さい。
- ・青春もするんやで！
- ・奨学金の方は、みんな優しいから困ったことがあればちゃんと言うこと。
- ・奨学生は先輩、後輩関係なく仲良しなので安心してね。
- ・何事にもチャレンジしてみてください！きっとためになる時がくるから！

V さん (8 期生)

1 高校を卒業して

一年生 中学で三年間続けた文化委員のような活動をしたかったので、図書委員になりました。夏休みに千冊以上の本を整理したり、新長田図書館と交流会をしました。文化祭ではお茶をたてたり、美術部のお手伝いをしました。

二年生 修学旅行でマレーシアへ！！と思ったらテロ事件などがあり、北海道に変更。雪シーズンでもなかったけど途中から大雪で神戸ではなかなかできない雪遊びをして楽しかったです。文化祭では他クラスが劇をしている中、3組はまさかの大喜利。なかなか濃いクラスメイト達との一年でした。

三年生 合唱コンクールで学年代表に選ばれて、文化祭で歌うことができました。流浪の民を歌い、模擬店では「ホルモンの民」という名前でホルモンうどんを出しました。すごく人気が出て学年で一番に売り切れたことにびっくりしました。クラスの球技ではサッカーをしました。僕は最後の最後にボールをもらいそのままゴール！！人生で一番輝いていたと思います。体育祭では三年生の学年競技でダンスをしました。練習回数がわずか数回で、数日前まで本当にみんなばらばらでした。ですが、先生達の激励もあり、次の日にはみんなが声を出してがんばっていたので感動しました。高校三年間はあっという間でしたが最後には自分の夢を決めて志望校にも合格することができました。

2 今後の進路について

神戸中央病院附属看護専門学校に進み、三年間学生生活を送る予定です。その後、国家資格を取得したら神戸中央病院か実家の近くの病院に勤務したいです。

今の目標は、一年生のうちに看護師の国家試験で八割をとることです。そのために今現在、自宅で予習中。

3 後輩へのメッセージ

中学校や高校では様々な体験をしたいと思います。特に失敗した時などは一週間ほど落ち込むこともあると思いますが、めげずにチャレンジしてください。その結果、自分の将来やりたいことが見つかるかもしれません。

学業に関して、一度全体を見た方がいいです。数学なら数学 I, II, III、数学 A, B などがあり、センター試験の過去問を解いてみると問題傾向もわかってきます。三年生になってから始める人も多いですが、一年生、二年生の内に将来の仕事と志望校について調べておくと、どの教科が必要なのかということもわかり、目標が立てやすく勉強にも身が入りやすいと思います。

余談になりますが筋トレしておいた方がいいですよ。理由は2つ。

1、痩せる（これ結構大きいと思います） 2、毎日続けることで自信がつく

家族と一緒に運動すれば兄弟や親子での会話のきっかけにもなり、悩み事があっても解決したり心が軽くなって助けられることもあるでしょう。

最後に、友達を大切にしてください。部活で本当につらくて自殺しようかと考えてしまうこともあるかもしれませんが、ともに支え合う仲間がいればどんな困難にも立ち向かうことができます。

長くなりましたが、長いようで短い学校生活が充実したものになるようがんばってください。応援しています。

D さん (8 期生)

1 高校を卒業して

高校3年間を通して、一番頑張ったことはやはり部活動です。私はカヌー部に所属していました。カヌー部は全国大会を目指す部活だったので、とても厳しくて、体力的にも、精神的にもきつかったです。そして私は通学時間が長くて、部活と学校にほぼ毎日行っていたので、家にほとんどいませんでした。でも大学には進学をしたかったので、電車の中や空いている時間をフル活用して、効率の良い勉強の仕方を自分なりに見つけました。部活動でも国民体育大会と全国インターハイに出場しました。部活で出会えた友達はきっと将来大人になっても、ずっと連絡し合える仲間です。またカヌー部での経験は自分自身が大きく成長できたきっかけにもなったし、ずっと誇りに思う大切な思い出です。学校生活もとても充実していました。友人と先生に本当に恵まれていたと思います。私が進路のことで悩んでいた時、先生が真剣に聞いてくれて、たくさんのアドバイスをくれました。先生たちがいなかったら、きっと今の進路には進学できなかったと思います。私は3年間本当に環境に恵まれていて、幸せな3年間を送ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

2 今後の進路について

私は関西学院大学法学部に進学しました。大学では政治について学び、国際問題や日本とコロンビアの問題に対する解決方法を研究したいです。また関学はたくさんのボランティア活動を行っている所以、私もぜひ参加したいです。英語と第2言語のフランス語を頑張りたいです。語学留学もしたいです。

3 後輩へのメッセージ

高校での3年間は本当にあつという間です。私のように、もちろん部活に取り組むのも良いことです。でも、とにかくあなたがチャレンジしてみたいことに、どんどん挑戦してほしいと思います。高校の間には、自分の中でいろいろな葛藤が生まれ、つらい時期もたくさんあると思います。でもそれは自然なことで、高校の間は、とにかくたくさんチャレンジして、たくさん失敗して、たくさん成長して下さい！！恥ずかしいことはありません。困ったときは周りに頼っても大丈夫です。そしてもう一つ、勉強はできないからといって絶対に諦めないで下さい。やって損はないし、やることで自分の中で何か新しい発見ができます。高校では充実した生活を送れることを願います！頑張ってください！！！！

第 10 回 KOBE カンタービレコンサート開催決定しました！

華やかで元気な女性4人グループ「COPAIN」の楽しい演奏と、奨学生が登壇して自己紹介するコーナーもありますので、ぜひ今からご予約ください。

日 時：2018年10月7日(日) 13:00 開場 13:30 開演

会 場：神戸市産業振興センター ハーバーホール (JR 神戸駅より徒歩5分)

出演者：COPAIN (サクソフォン・カルテット・コパン)

